

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	総合 ネット上で知り合った人との危険について考えよう	
キーワード	ネットで知り合った人にメールアドレスを教えない	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	3e 安全への知恵
	中目標項目番号 中目標項目内容	e3-2 自他の個人情報を第3者にもらさない
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	メールの良さと悪さを考え、これからの選択に活かす	
使用教材	教材名	NET モラル 児童用
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	・インターネットの掲示板機能について理解する。	ネット上で知りたいことを掲示板を通して得ることができることを理解させる。
展 開	・ネットで知り合った人との連絡は危険をみる ・掲示板の機能を使って良かったこととまず良かったことを考えて発表する。	良かった点：多くの人から具体的な情報が寄せられてハムスターが元気になったこと。 まずかったこと：自分のメールアドレスを教えてしまい、つきまとわれたこと。
お わ り	・掲示板機能の良さと危険さを考える。 ・ドリルで学習したことを振り返る。	掲示板に個人情報を載せてしまうと見知らぬ人に個人情報が漏れ、思わぬ危険に巻き込まれることが有ることを理解できたか。

授業の成果

- ・具体的な事例を通して、体験的に学習を行うことができた。

指導のポイント・留意点

- ・事例はスクリーンを用い一斉視聴、ドリルは個人で行わせる。